

園芸新知識 今月の表紙

かわいいカボチャ

「大は小を兼ねる」とよく言いますが、最近のライフスタイルは必ずしもそうとははいえないようです。携帯電話は数年で小型化し機能が強化され、テレビもスペースをとらない薄型テレビが売られています。しかし、ただ小さくなればよいというわけではありません。それでいて従来よりも同等以上の品質であることが売れる条件です。人気のミニカボチャ「ほっこり姫」は場所も取らず、少人数で食べられるサイズですが、味はほくほく甘い粉質カボチャで、大きいものと比べてまったく遜色ありません。家庭菜園や直販にぜひおすすめしたい、本格派のかわいいカボチャです。



太陰
太陽暦
に見る

暦と生活

今昔

いまむかし

卯月

うづき(4月)

4月の暦と生活

【清明】4月5日 【穀雨】4月20日

清明に入ると、いよいよ本格的な春を迎えます。明るく清らかで生き生きと、桜の花も咲き誇ります。穀雨とは読んで字のごとく、田畑を潤してくれる雨のこと、一般に「菜種梅雨」といわれるものです。

前号でも紹介しましたが、昔は、田起こしやモミまきを実際に行う時期でした。ただ、各地で気温が異なるため、農民は山の雪どけの様子などから、作業の時期を判断していたそうです。現在では土づくりをし、タネをまき、後半からは植え付けに入る時期です。

平安朝の行事

【孟夏句】旧4月1日

平安朝の4月は、暦の上ではすでに夏となります。旧暦なので、暑さまでは感じなくとも、初夏の陽気で汗ばむこともあるそうです。

この、夏の始まりである4月1日には孟夏句、また10月1日には孟冬句という行事がありました。天皇が酒宴を開くのですが、その際、4月は扇、10月は氷魚(アユの幼魚)と、この後の季節にふさわしいものを臣下に賜っていました。

これが「旬」の由来であり、現在では食べ物の一番おいしい季節を表す言葉となっています。

地方のお祭

【佐原香取神宮御田植祭】4月2〜3日

香取神宮の創建は紀元前と伝えられ、古くから国家鎮護の神として崇拜されてきました。4月の最初の土日に行われる御田植祭は、日本三大御田植祭の一つに数えられ、田植えの無事と秋の豊作を祈願するものです。初日の耕田式では、前庭で鍬や鋤などを使った儀式が行われ、田植え歌も聞かれます。翌日の田植式では、神田で田植えの儀式が行われ、昔の稲作風景をかいま見ることができま

【大津日吉大社山王祭】4月12〜15日

日吉大社の山王祭は、約1300年の歴史を持つ、天下太平と五穀豊穡を祈るお祭りです。三輪明神に、榊を捧げたのが始まりだそうです。祭りは4日間にわたって行われ、7基の華麗な神輿を山上の社から湖へと移動させていきます。中でも競つように神輿を出す13日の「宵宮落し」は、「けんか祭」の異名をとるほど勇壮で迫力があり、神輿を船にらせて湖を渡る14日の「申の神事」では、一変して一大祭礼絵巻が繰り広げられます。



いろいろ使える土壌診断試験紙「みどりくん」 「みどりくん」で「低硝酸野菜」を目指そう!

今、「低硝酸野菜」が注目されています。硝酸含量を低く抑えた野菜のことですが、赤ちゃんがこの硝酸を多量に摂取すると、メトヘモグロビン血症や発がん性物質で

あるニトロソアミンの生成に関与すると指摘されています。そのためEUでは、ハウレンソウとレタスに左下にあるような基準が設けられ、硝酸濃度がそれ以上になると出荷できなくなってしまいます。

日本でも基準設置が検討されているようですが、すでに自主基準を設けて「低硝酸野菜」を生産している農家も多く見受けられます。

硝酸は野菜の生育に最も大切な養分ですので、低硝酸にこだわると収量が下がってしまいます。逆に、欲張って収量を上げようとすれば野菜中の硝酸濃度が高まります。硝酸が増えると、野菜

の命ともいえるビタミンCが下がってしまいます。さらに、糖含量も下がるので、甘さが減って日もちも悪くなります。

そこで、農大式簡易土壌診断キット「みどりくん」の登場です。スターターキットに入っている「みどりくんN」を使えば、土壌だけでなく野菜中の硝酸濃度もわずか数分間で測定できます。詳しくは、<http://www.midorikun.net>をご覧ください。

「低硝酸野菜」作りのコツは、「腹八分目」です。たとえば有機質肥料でも、入れすぎれば野菜中の硝酸濃度が高まります。「みどりくん」で土壌診断をしながら、無駄な肥料を減らして「腹八分目の土づくり」を心掛ければ、おいしく栄養価の高い野菜が作れます。

さらに、作った野菜の硝酸濃度を「みどりくん」で測ってから出荷すれば、生産者にも消費者にも安全で安心な野菜と言えるでしょう。



EUの硝酸基準値(単位: mg/kg)

ハウレンソウ(11月〜3月に収穫されるもの)	3,000
(4〜10月に収穫されるもの)	2,500
レタス 施設栽培	2,500
露地栽培	2,000

農林水産省ホームページより抜粋

土壌に残留している成分を簡単に測定できる「みどりくんスターターキット」。しっかりとした土壌管理を行い、充実した栽培を!

「みどりくん」の販売については「2005年春野菜ガイド」143頁をご参照ください。